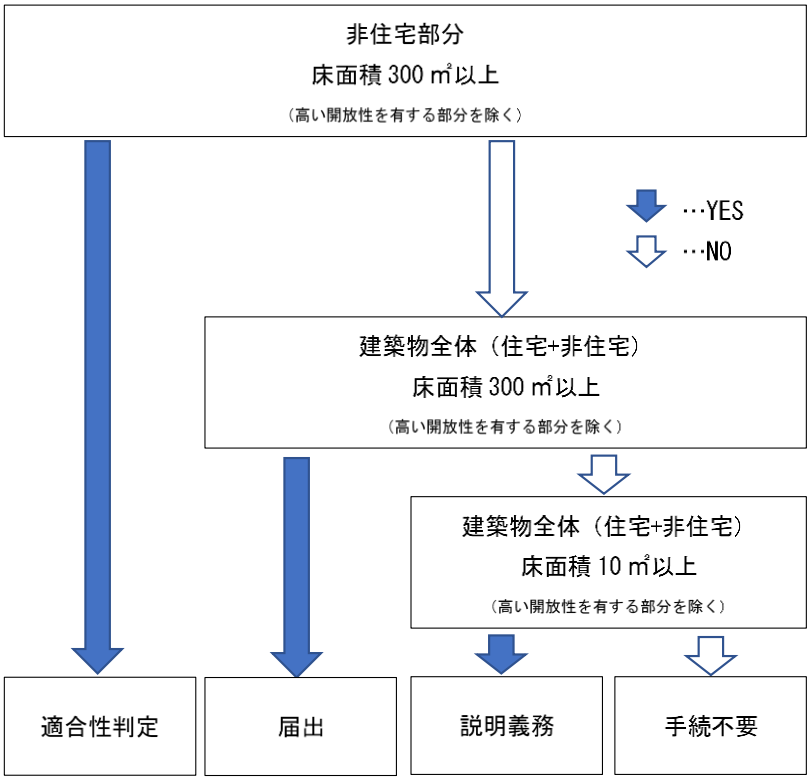
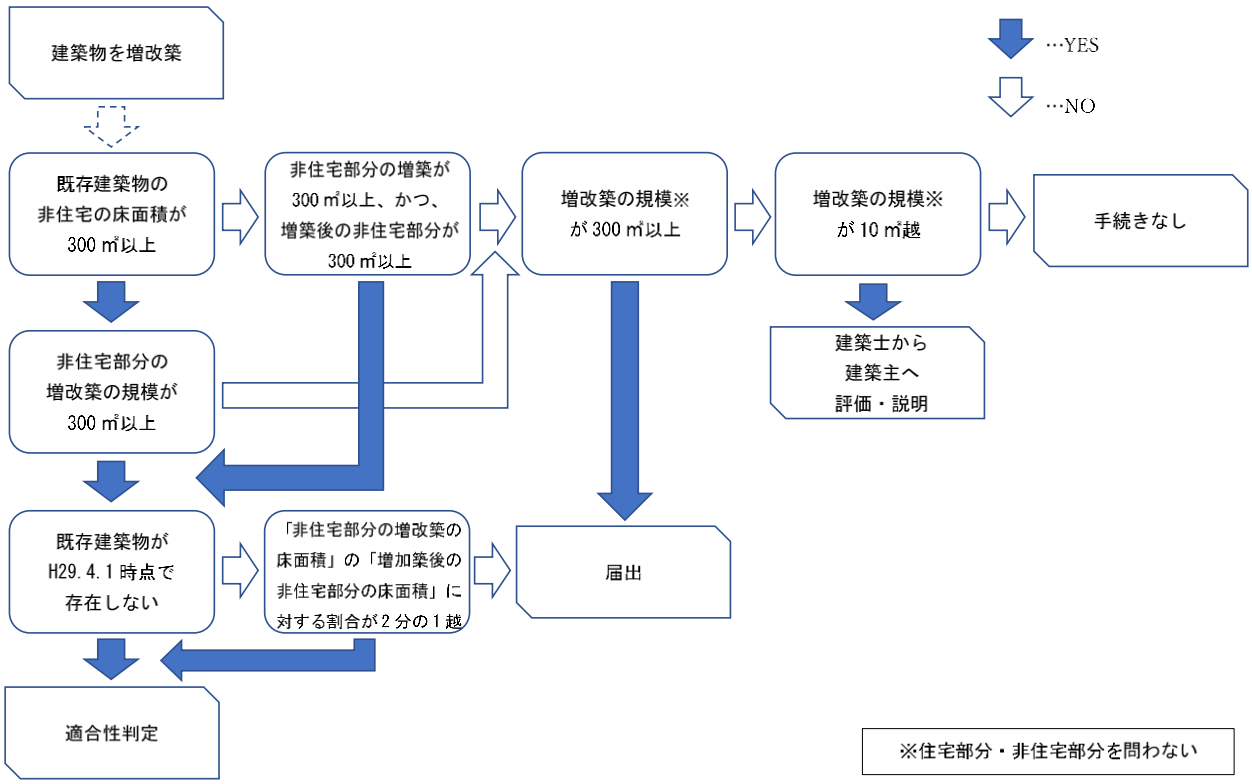
新築の場合


非住宅部分
床面積 300 ㎡以上
（高い開放性を有する部分を除く）
…YES
…NO
建築物全体（住宅+非住宅）
床面積 300 ㎡以上
（高い開放性を有する部分を除く）
建築物全体（住宅+非住宅）
床面積 10 ㎡以上
（高い開放性を有する部分を除く）
適合性判定
届出
説明義務
手続不要

増築の場合


建築物を増改築
…YES
…NO
既存建築物の
非住宅の床面積が
300 ㎡以上
非住宅部分の増築が
300 ㎡以上、かつ、
増築後の非住宅部分が
300 ㎡以上
増改築の規模※
が 300 ㎡以上
増改築の規模※
が 10 ㎡越
手続きなし
建築士から
建築主へ
評価・説明
非住宅部分の
増改築の規模が
300 ㎡以上
既存建築物が
H29. 4. 1 時点で
存在しない
「非住宅部分の増改築の
床面積」の「増加築後の
非住宅部分の床面積」に
対する割合が 2 分の 1 越
届出
適合性判定
※住宅部分・非住宅部分を問わない